



### 渋沢インターチェンジ(仮称)を中心とした渋沢丘陵の計画的な整備



志 政 会 高橋 文雄

#### 一 渋沢インターチェンジ(仮称)の周辺整備構想について

問 国道246号バイパスは平成8年に都市計画決定し、伊勢原西インターチェンジから秦野中井インターチェンジまで事業化されている。①渋沢インターチェンジ(仮称)周辺の土地利用の方針は、②アクセス道路である渋沢小原線の整備状況はどうか。

答 ①総合計画後期基本計画の中で渋沢丘陵の包括的土地利用を検討する。②県が整備する道路と副知事より回答を得ている。

意見 インター周辺整備計画を策定し効率的な渋沢丘陵にするとともに、既存の福祉施設やみかんハウスなどをスポーツビレッジの計画に入れ適正に配置すべきである。

二 若者の孤独について

問 コロナの影響により、小・中学生などで自殺者が増加傾向にある。①自殺者の状況は、②小・中学生の不登校の状況は、③孤独な



### 誰もが安心して暮らすことができる環境整備へ



創和・市民 横溝 泰世

#### 一 包括的な支援体制の整備について

問 令和3年に施行された重層的支援体制整備事業は、複雑化・複合化したニーズに対応するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に実施する事業である。地域共生社会の実現に向けた取り組みをより一層促進するための具体的な手法であり、本市は5年度から本格的に取り組んでいるが、経過はどうか。

答 庁内関係課と分野横断的な連携の強化を図り、複合的な課題や事例の情報共有を行っている。また、2年度に地域共生支援セン

ターを設置して体制を整えた。以前分野ごとの相談業務からアウトリーチ型の包括的支援を充実していくためには、今後専門的な職員配置の充足を図ることが必要と考えるが、どうか。

答 横断的支援をはじめ当事者に寄り沿った対応をする必要があるため、今後検討していく。

二 デジタル化におけるコミュニケーションづくりについて

問 業務の効率化やデジタル化を進める一方、職員間でコミュニケーションのとりやすい環境づくりが大切と考えるが、職員同士の交流を深めるための考えはどうか。

答 上司と職員が対話する機会を



厚木秦野道路(国道246号バイパス)計画図

ともにつくる 原 聡

### 市民の命と名水を守れ



#### 一 救急体制について

問 救急車の現場到着時間の延伸傾向や、救急隊の現場滞在時間が30分以上の搬送困難事案の増加に対し、対策はどうか。

答 10年前の現場到着時間と比較すると24秒延伸している現状などを踏まえ、対策としてICT技術を活用した救急医療支援システムの実証実験を行っている。

問 実証実験の結果と今後の取扱いはどうか。

答 現場活動時間では1分01秒で約5%、収容依頼・病院滞在の時



### 子育て環境の充実に向け、教育・福祉・子育て分野でさらなる連携を



#### 一 早期療育の事務手続について

問 発達検査を行うことばの相談室を保護者に紹介する際、所管する障害福祉課を案内することに抵抗があると聞く。受け付けや事務手続などを福祉部からこども健康部に移管できないか。

答 現在関係課で調整を進めており、市民が利用しやすいよう、最適な在り方を検討していく。

二 就学相談について

問 就学相談件数の推移はどのようか。

答 平成23年度は81件、令和4年度は139件である。

問 市民より面談が遅くなり、見学に余裕がないと聞く。面談に対応する人員が少ないのではないか。

答 令和3年度より、特別支援教育等コーディネーターとして2人任用し、丁寧な支援に努めている。

要望 業務量の見直しを図り、増員も含めて検討してほしい。

三 子育て環境の充実について

問 一時預かりが充実していない本市の状況で3年保育を望む声は多い。子どもたちの集団生活への適応などの観点からも、公立幼稚園で3年保育が必要と考えるが、どうか。

答 現段階で実施の計画はない。公私連携携幼保連携型認定こども園に移行する中で、3年保育の定員確保に努めている。

要望 公立幼稚園での3年保育が必要であり、特色ある学びを展開してほしい。

二 有機フッ素化合物による本市への影響について

問 末広町の個人井戸の地下水から、暫定目標値を超えて検出されているが、その後の経過と対応状況はどうか。

答 PFOSなどが検出された井戸を県と共に調査・経過観察しており、数値は現在低下傾向にある。農業用水も湧水調査に加え、関係課で情報共有し公表していく。

要望 本物質は基準値もまだ暫定値であるため、対応や対策の情報収集をしっかりと行ってほしい。

公明党 中村 英仁

### 人も暮らしも街も豊かな秦野へ



#### 一 投票率の向上について(その2)

問 投票率が下がっている中、主権者教育が必要と考える。本市の取り組み状況はどうか。

答 主権者教育は社会の重要な位置を占める。そのため、主権者教育の大きな目的である、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を目標とした活動を進めていきたいと考えている。

二 職員の人材育成について(その2)

問 複雑・多様化する行政課題の解決に対応するには、戦略的な人材育成が必要と考える。本市の考えはどうか。

答 現在、職員(ひと)づくり基本方針について、国の新たな策定方針の動向も注視しながら、時代に即した戦略的な人材育成計画となるよう見直しに取り組んでいる。

三 地方都市の活性化について

問 市内にある企業は共に秦野のまちを作り上げていくパートナーであり、企業誘致は、本市にとって大変重要であると思うが、考えはどうか。

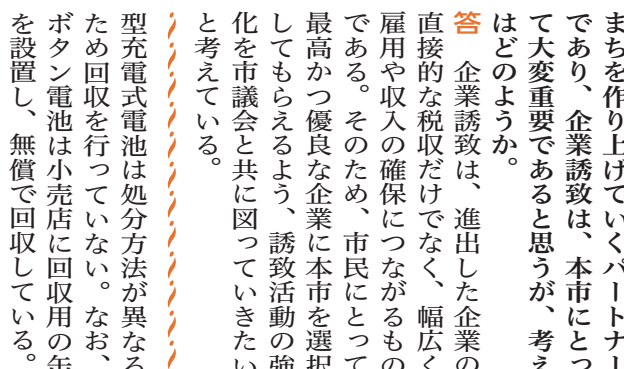
答 企業誘致は、進出した企業の直接的な税収だけでなく、幅広く雇用や収入の確保につながるものである。そのため、市民にとって最高かつ優良な企業に本市を選択してもらえよう、誘致活動の強化を市議会と共に図っていききたいと考えている。

型充電式電池は処分方法が異なるため回収を行っていない。なお、ボタン電池は小売店に回収用の缶を設置し、無償で回収している。

本会議はインターネットで生&録画中継しています! 多くの皆さまからのアクセスお待ちしております。こちらからアクセス



井戸の地下水調査を



地域住民と共に豊かな秦野へ

用語解説 ※PFOS...ペルフルオロオクタンサルホン酸の略称で、フッ素を含む有機化合物の一種 ※かなちゃん手形...神奈川中央交通株式会社が販売する高齢者バス割引乗車券で、この手形を提示すると、神奈中・神奈中グループの一般路線バスがどの区間でも1回の乗車が現金100円で利用できるもの。(空港リムジンバス・深夜急行バス・旅行などの貸切バス・催事輸送などは除く。深夜バスは1乗車200円となる。)